

はつうま 初午祭

10月4日、今年で8回目を迎える初午祭が、上県町の目保呂ダム馬事公園で行われました。

初午祭は、子どもたちの健やかな成長を願って行う瀬田地区に古くから伝わる祭りです。

この日は、小中学生による出し物や乗馬体験、地域特産のソバやシイタ



ケなどを使った軽食の販売もあり、多くの来場者で賑わいました。

中でも注目される馬跳ばせ(対州馬レース)では、全長250メートルの直線のコースを、地元の中学生や福岡の乗馬クラブの生徒ら12名が、8頭の対州馬で競いました。

また、イベントの終盤には、仁田中学校の生徒が、リレーで対州馬に挑戦するといった、ユニークな企画も行われるなど、秋の一日、馬事公園は大きな歓声に包まれました。



稲刈り体験

10月5日、上対馬町比田勝小学校の5年生が、6月に自分たちの手で植えたもち米の収穫を行いました。

上対馬町津和地区の春田新一さんの田んぼで、5年前から比田勝小学校の5年生が社会科授業の一環として稲作体験に取り組んでいます。

春田さんは「雨が多く日照時間が少なかったですが、例年通りの出来になりました。60キロ程のもち米がとれるのではないのでしょうか」と、話していました。

教科書では学ぶことができない、土のヌルヌルした感覚や腰を曲げて作業をするなど、米作りの苦勞を体験していました。



佐須奈中体験学習

10月16日、佐須奈中学校1年生6名が、比田勝海上保安署で職場体験学習を行いました。

生徒たちは、海上保安業務について話を聞いたり、巡視艇「あきぐも」を操船するなど、学ぶこと、働くことの素晴らしさを体験していました。

「海上保安官にはどんな人が向いているのですか」、「今まで命の危険を感じたことはありますか」と興味深く様々な質問をするなど、生徒達の熱心さが伺えました。



中学校駅伝

10月2日、峰総合運動公園陸上競技場で、対馬市中学校体育大会駅伝競技が行われ、19チームが出場しました。

競技がスタートすると悪天候だった朝の天气が嘘のように晴天に恵まれ、保護者をはじめ地域の方々も駆けつけ、声援を送りました。

力走の結果、男子は厳原中学校が女子は豊玉中学校が優勝し、県大会に対馬代表として出場します。



男子：優勝 厳原中、2位 久田中、3位 豊玉中
女子：優勝 豊玉中、2位 雞知中、3位 厳原中



グランドゴルフで防火の絆を



10月4日、豊玉町千尋藻地区で「防火の集いふれあいグランドゴルフ大会」が開催されました。

対馬市消防署豊玉出張所が、地域で防火意識の高揚につながればと主催したもので、小学生から高齢者まで多くの方が参加しました。

地区では、防火教室や火の用心夜間パトロールなども実施しており、全世帯に住宅火災警報器を設置するなど地域が一体となり防火に心がけています。

この大会で、一人ひとりが防火について再認識し、安心して暮らせる地域へと、ネットワークを広げていました。

対馬和牛共進会

10月8日、生産者の飼育レベル向上を目指して、2年に1度開催される対馬和牛共進会が豊玉町で行われました。

グランドチャンピオンには、美津島町雞知の俵利治さんの第六あきほ号が輝きました。

市内には、現在85戸の生産農家があり、生産者の高齢化など課題はあるものの、JAなど関係機関では、年3回行っている家畜市に毎回100頭ずつの子牛を出荷することを目標に、子牛の生産向上に努めています。



俵さんと第六あきほ号

戦没者追悼式

10月16日、豊玉総合運動公園体育館で、長崎県戦没者慰霊奉賛会对馬市支部主催の対馬市戦没者追悼式が行われました。

この追悼式は、太平洋戦争などで戦死した対馬出身者1400人あまりの冥福を祈ることを目的に毎年行われています。

式典には、遺族や関係者およそ370人が参列し献花では、一人ひとりが白い菊を手に祭壇に向かって合掌し、戦没者の冥福を祈りました。



よるずきょうげん
雞知中「萬狂言」を体験

9月29日、雞知中学校で、「萬狂言」の体験型講座が開講されました。

文化庁が行う本物の舞台芸術体験事業の一環で、子どもたちに本物の芸術に触れてもらおうと、プロの狂言師から教わりました。



指導したのは、東京で活動している吉住講さんと、狂言の世界ではとても珍しい女性の狂言師、吉永優子さんで、2人は生徒たちに基本であるあいさつの仕方や歩き方、動作などを教えました。

生徒たちは、普段目にすることも、体験することもない狂言の世界に触れ、楽しそうでした。



海上自衛隊ミサイル艇一般公開

10月3日、巖原港で海上自衛隊第3ミサイル艇隊所属の「しらたか」「おおたか」の2隻が一般公開され、海上自衛隊に対する理解を深めてもらおうと体験航海が行われました。



ミサイル艇は全長50メートル、小型軽量、62口径76ミリ速射砲を装備し、ウォータージェットポンプを3機搭載するなど、より高速で迅速な対処が可能となっています。

日頃入る事のできないミサイル艇に乗船する事ができた参加者は乗組員の説明に熱心に耳を傾けていました。



あすなるコンサート

10月8日巖原町の久和小学校体育館であすなるコンサートが行われました。

コンサートでは、3名の音楽家がピアノ・フルート・オーボエを演奏し、子供達にも親しみやすい音楽が体育館に響き渡りました。

久和小学校の児童4名と職員でカスタネットなどの楽器を使って演奏に加わりコンサートを盛り上げました。

あすなるコンサートとは.....遠隔地に住む児童生徒に生の演奏に接する機会を少しでも増やし体感してもらう為に2001年から音楽家のボランティア協力によって実現したコンサートです。コンサートの実現にあたっては、趣旨を理解してくれる外部の組織・団体より助成を受けて安定したコンサートの継続を行っています。

